

謹賀新年

平成30年



明

けましておめでとうございませう。健康やかに新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

私は、昨年12月8日、福島市長に就任いたしました。

本年、福島市は市制施行111周年、トリプル1(ワン)の年に、中核市に移行します。また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、東北中央自動車道福島―米沢間の開通など復興の舞台は調ってきました。

そして、東日本大震災および福島第一原子力発電所事故から6年9カ月が過ぎ、私の任期中には10年の節目を迎えます。

私は、この重要な時期に市政を担う重責を大きな推進エネルギーに換え、復興をさらに加速し、元氣あふれる福島市の新ステージを築いてまいります。

政策目標として一つ目は、「ひと・暮らし

111周年、中核市へ移行、新ステージへ

福島市長 木幡 浩

いきいきふくしま」。子どもからお年寄りまで、女性も男性も、障がいのある方もない方も、安全安心で元氣に暮らせるまちを目指します。二つ目は「産業・まちに活力ふくしま」。東北各地と首都圏との連携軸が交差する拠点として、農産物や温泉、花など福島市の魅力を生かし、福島らしい産業の振興・集積、にぎわいと雇用の創出に新しい視点で取り組みます。三つ目は「風格ある県都ふくしま」。中心市街地の再生に取り組み、県都にふさわしい施設、顔づくりを進めるとともに、県北圏域における連携中核都市圏構想を推進します。また、事業の推進には、市民の皆さまとの対話と協働を基本とし「開かれた市政」と「スピードと実行」を信条に積極的に取り組んでまいります。

本年が皆さまにとって、健康で希望に満ちた幸多き年となるようご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

明

けましておめでとうございませう。市民の皆さまが、健康やかに新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年は、市議会に対しまして格別なるご理解と、ご支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

さて、福島市は平成30年4月に、中核市への移行を迎えます。市制施行から110年余りに及ぶ歴史あるわが市においても、大きな転換期となります。

本市は、中核市に課せられた地方分権改革の推進役としての使命を心に深く刻みながら、きめ細かな市民サービスをさらに拡大し向上させることに、総力を挙げて取り組んでいく必要があります。

このような重要な時期に当たり、二元代表制の一翼を担う市議会といたしましては、引き続きこれらの諸課題に積極的に取り組み、議会基本条例の基本理念にのっとり、今後も、



復興の加速と

さらなる飛躍に向けて

福島市議会議員

半沢 正典

広く民意を市政に反映できるよう、本市の復興と市勢伸展のため、力を尽くしてまいります。

また、市民の皆さまの声を行政に反映するため、議会報告会・意見交換会を今後も開催し、より一層分かりやすく、開かれた議会運営を行い、市民の皆さまの負託に応えられるよう努めてまいります。

新しい年を迎え私ども市議会は、市民福祉の向上のため、その職責の重さを自覚し、市議会のさらなる改革に取り組み、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興の加速、そしてさらなる飛躍に向けて、全力を傾注してまいりますので、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年一年が、市民の皆さまにとりまして健康で幸多き年でありませう、心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。